

家庭科 1年		家庭基礎		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	家庭基礎	対象	全	コース	単位数 1 単位
教科書	家庭基礎とともに生きる・持続可能な未来をつくる		出版社		第一学習社
副教材	2020 最新生活ハンドブック				

1 学習の到達目標

- ① 各ライフステージの特徴と課題を理解し、生涯を見通した生き方を考えられるようにする。
- ② 家族・家庭の機能、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深める。
- ③ 乳幼児期の心身の発と生活、子どもを取り巻く社会環境、子育て支援について理解する。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の内容	家庭や地域の生活について関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	家庭や地域の生活について課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し創造する力を身に付けている。	家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。	家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学習プリントへの取り組み ・定期考査 ・学習課題の提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習プリントへの取り組み ・定期考査 ・学習活動への姿勢 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習への姿勢 ・提出課題の完成度 ・確認テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・確認テスト ・定期考査

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 定期考査 70% 平常点 (学習態度・小テスト・課題など) 30%

3 学習計画

月	学 習 単 元	主 な 学 習 活 動 と 到 達 目 標	時 間 数
4	・ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のねらい，授業の概要，評価方法(単位認定)を理解する。 ・「家庭基礎」を学ぶ意義を理解する。 	1
5	1章 これからの生き方と家族	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期に果たすべき発達課題について理解する。 ・男女が相互に協力して家庭を築くことの重要性を理解する。 ・家庭生活を支える労働の特徴を理解し，ワーク・ライフ・バランスについて考える。 	10
6	1節 青年期を生きる <ul style="list-style-type: none"> ・自分らしい人生 ・青年期の課題 		
6	・男女平等と相互の協力 2節 家族・家庭と社会とのかかわり		
7	【1学期期末考査】		
9	2章 次世代をはぐくむ	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの育つ力と発達段階を理解する。 ・子どもを取りまく社会変化の現状について理解する。 ・児童福祉の理念を理解し，子育て支援の現状を学ぶ。 	9
10	1節 子どもの発達 2節 親の役割 3節 子育て支援と福祉		
11	6章 装う ・被服実習		
12	【2学期期末考査】	<ul style="list-style-type: none"> ・布を用いた生活の工夫を知る。 ・日本の伝統的な衣文化を知る。 ・布を用いた被服実習を通して，裁縫の基本技術を身につける。 	3
1	7章 住まう	<ul style="list-style-type: none"> ・住居の機能や間取りについて理解する。 ・住居の空間の構成を理解する。 ・住居を借りる際に必要な情報の収集や費用について理解する。 	7
2	1節 人の一生と住まい 2節 住生活の計画と選択		
3	【学年末考査】		

家庭 科 3 年		家庭基礎		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	家庭基礎	対象	全	コース	単位数 2 単位
教科書	家庭基礎 自立・共生・創造			出版社	東京書籍
副教材	なし				

1 学習の到達目標

- ① 各ライフステージの特徴と課題を理解し、生涯を見通した生き方を考えられるようにする。
- ② 生活に必要なお金にはどのようなものがあるか理解し、将来を見通した家計管理ができるようにする。
- ③ 五大栄養素の働きとそれらを多く含む食品を理解し、バランスのとれた食生活を実践できるようにする。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の内容	家庭や地域の生活について関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	家庭や地域の生活について課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し創造する力を身に付けている。	家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。	家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学習プリントへの取り組み ・定期考査 ・学習課題の提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習プリントへの取り組み ・定期考査 ・学習活動への姿勢 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習への姿勢 ・提出課題の完成度 ・確認テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・確認テスト ・定期考査

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 定期考査 70% 平常点 (学習態度・小テスト・課題など) 30%

3 学習計画

月	学 習 単 元	主 な 学 習 活 動 と 到 達 目 標	時間数
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のねらい、授業の概要、評価方法(単位認定)を理解する。 ・「家庭基礎」を学ぶ意義を理解する。 	1
5	[第1章 自分らしい人生をつくる] <ul style="list-style-type: none"> ・生涯発達の視点 ・青年期の課題 ・家族・家庭をを見つめる ・これからの家庭生活と社会 	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期に果たすべき発達課題について理解する。 ・男女が相互に協力して家庭を築くことの重要性を理解する。 ・家庭生活を支える労働の特徴を理解し、ワーク・ライフ・バランスについて考える。 	10
6	[第8章 経済生活を営む] <ul style="list-style-type: none"> ・職業生活を設計する ・計画的に使う 	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的自立と職業について主体的に考える必要性を理解する。 ・生活の基盤となる家計管理の重要性を認識し、ライフステージ全体を見通した家計管理をできるようにする。 ・家計から見えてくる社会の仕組みを理解する。 	8

7	<p>・現代の消費社会</p> <p>[第7章 住生活をつくる]</p> <p>・住生活について考える</p> <p>【1学期期末考査】</p>	<p>・契約や消費者信用，多重債務問題などを学習し，消費者として適切な判断をできるようにする。</p> <p>・住居の機能や間取りについて理解する。</p> <p>・住居の空間の構成を理解する。</p> <p>・住居を借りる際に必要な情報の収集や費用について理解する。</p>	5
9	<p>[第5章 食生活をつくる]</p> <p>・食生活の課題について考える</p>	<p>・食生活に関心を持ち，食事バランスのよい食事摂取の重要性を理解する。</p>	14
10	<p>・食事と栄養・食品</p> <p>・調理の基礎</p> <p>・生涯の健康を見通した食事計画</p> <p>・調理実習と調理理論</p>	<p>・食生活を振り返り，食生活の変化や課題について知り，良い食生活の実践に役立てる。</p> <p>・栄養素の種類とはたらきを学習し，各栄養素を多く含む食品の特徴を理解する。</p>	
11	<p>[第2章 子どもと共に育つ]</p> <p>・子どもの育つ力を知る</p> <p>・親として共に育つ</p> <p>・これからの保育環境</p>	<p>・4つの食品群による摂取量のめやすを理解する。</p> <p>・実習により，基本的な調理技術を身につける。</p> <p>・衛生的に調理を行うために，衛生管理の知識を身につける。</p>	3
	<p>[第3章 高齢社会を生きる]</p> <p>・高齢期を理解する</p> <p>・高齢者の心身の特徴</p> <p>・これからの高齢社会</p>	<p>・子どもの育つ力と発達段階を理解する。</p> <p>・子どもを取りまく社会変化の現状について理解する。</p> <p>・児童福祉の理念を理解し，子育て支援の現状を学ぶ。</p>	3
12	<p>[第9章 生活を設計する]</p> <p>・生涯を見通す</p> <p>【2学期期末考査】</p>	<p>・高齢社会の現状と課題を理解する。</p> <p>・高齢期の心身の変化や特徴，個人差が大きいことを理解する。</p> <p>・高齢者を支える制度と課題を考える。</p> <p>・自分の目指すライフスタイルを踏まえ，高校卒業後の生活設計を立てる。</p>	2